

製品名: TCP-1 (ウサギポリクローナル抗体)**カタログ番号: APRab18746**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください (12 ヶ月有効)。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	60kDa

抗原情報

遺伝子名	CCT6A
別名	CCT6A; CCT6; CCTZ; T-complex protein 1 subunit zeta; TCP-1-zeta; Acute morphine dependence-related protein 2; CCT-zeta-1; HTR3; Tcp20
遺伝子 ID	908.0
SwissProt ID	P40227
免疫原	抗血清はヒト CCT6A 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 171-220

背景

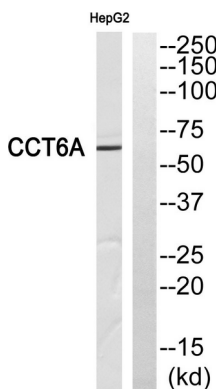
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、TCP1 リング複合体 (TRiC) としても知られるシャペロニン含有 TCP1 複合体

(CCT) のメンバーである分子シャペロンです。この複合体は、それぞれ8つの異なるタンパク質を含む2つの同一のリングが積み重ねられた構造をしています。折り畳まれていないポリペプチドは複合体の中央の空洞に入り、ATP 依存的に折り畳まれます。この複合体は、アクチンやチューブリンを含む様々なタンパク質を折り畳みます。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする代替転写スプライスバリエーションが同定されています。さらに、この遺伝子の疑似遺伝子もいくつか同定されています。[RefSeq 提供、2010年6月];注意:ここに示す配列は、Ensembl 自動解析パイプラインから得られたものであり、予備的なデータとして考えてください。機能:分子シャペロン;ATP加水分解によるタンパク質の折り畳みを補助します。試験管内において、アクチンとチューブリンのフォールディングに関与することが知られている。類似性:TCP-1 シャペロニンファミリーに属する。サブユニット:直径12~16 nmの2つのリングが重なり合う、約850~900 kDaのヘテロオリゴマー複合体。PACRGと相互作用する。、

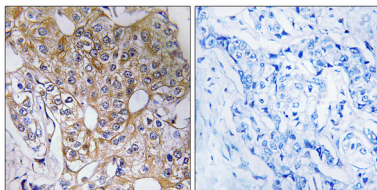
研究分野

シグナル伝達、タンパク質輸送、シャペロン、その他のシャペロン

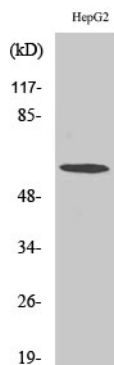
画像データ



CCT6A 抗体のウェスタンブロット解析。右レーンには CCT6A ペプチドでブロッキングされている。



CCT6A 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト乳癌組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



TCP-1 ζ ポリクローナル抗体を 1:500 に希釈して様々な細胞をウェスタンブロット分析した。